

漁梁園名立工業城

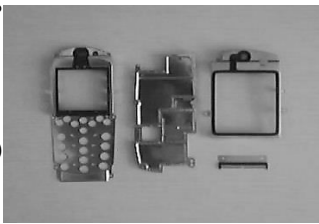
『菊池香港有限公司 中国工場』(本社東京八王子市 菊池社長)当工業区進出の同社工場建設が現在急ピッチで進んでおります。



(2003年1月稼働を目指し建設中の同社中国工場)

同社は、OA機器、民生機器等の総合試作品メーカーとして日本国内外より非常に高い指示を受けており、一方特殊技術を必要とする加工品においては量産まで対応出来る事もあり、現在八王子本社工場をはじめ福島県5工場に対応しております。さらに、韓国、マレーシアで技術提携による協力会社を有しております。今回の、中国進出は先に述べた業種の大手メーカーがすでに中国進出をしている中で開発機能も中国に移管する動きもあり、その場合ユーザーにより近い所で対応する必要が有るとの判断で決定されました。同社の、高い技術力、総合力、それと一番の魅力は試作～量産まで一貫で出来る事でユーザーにとっては非常に便利になると考えられます。中国工場は、2003年1月稼働を目指し現在進行中で、同工場では試作品をはじめ特殊部品の量産さらにサブアッセンブリーまでを計画しています。

(生産予定の同社加工製品の一部)



清溪镇紹介

『清溪革命烈士記念碑』鎮の東側銀利ゴルフ場近くにあり、この記念碑は日本人にとっては少し耳の痛い物で、第二次世界大戦の時日本軍と戦って戦死した、清溪镇出身の兵士の勇気を湛え祭ったもので、歴史を重く感じます。



(記念碑には戦いの様子が刻み込まれています)



(空に向かってそびえ立つ記念碑)

ちょっと気になる事

『中国工場運営費補填金』の事先月号で記載した人頭税の最後に多くの企業は送金で不足した運営費を香港から運搬していると述べました。

この事は、けて合法ではなく非合法に近い事です。(あくまで、送金した場合にピンハネされる28%を避ける為のいわば裏技的な事であり、出来るのであれば送金の方がより安全で確実です。)この事を前提に今回は実体験を基に運営費を中国内に持ち込む方法をご紹介しますと思います。

〈1. 現金運搬〉

必要な香港ドルをカバン等に入れ香港から持って来て、中国内の両替所(非公認)で人民元に交換する。

この方法は、かなりリスクが高い為、(特に高額)現在行っている企業は少ないと思います。

〈2. 小切手運搬〉

必要な香港ドルの小切手を中国内の両替所(非公認)で人民元に交換する。

この場合、必ず現金小切手である事と場合によっては確認する為、口座の残高の提出を求める場合があります。

又、中国内の両替所も規模がある程度大きく無いと、対応できません。

〈3. 香港内送金〉

あらかじめ提携を結んだ、中国内両替所、中国内企業の香港指定口座に振り込みをし中国内で人民元を受け取る。

2項同様信用がもっとも重要なポイントとなります。

〈中国内両替所〉(非公認)

一般的には町のタバコ屋でも行えます。高額(HK\$10000以上)は、工場近くの両替を専門に近い状態で行っている所の方が安全です。(当然両替所の表札はありません。)しかし、この両替所で一番注意しなくてはならないのが、偽札です。

100元札はもとより50元、10元札にもすべて偽札があります。交換した際は必ず確認が必要です。

ある程度、規模を大きく行っている所は検札機械を持っていますので、これで確認すれば偽札は発見できます。いずれにしても、どの方法で行ってもリスクはあります。

3回に渡り、委託加工の実態の一部を記載しましたが、この委託加工事態が他の地域から見た場合特殊な為、中の仕組みも?の部分が多くあり一口には説明の出来ない部分が多くあります。

ちょっと気になる食べ物

『咸鱼保仔飯』中国名:シェンユボウザイハン 中国風炊き込み御飯で、日本同様といたお米に具、出し汁を入れ炊き込みます。この場合は鰹(ぼら)干物の切り身と万能ねぎをいれ、醤油ベースの出し汁を入れ炊き込んだものです。

鰹から出るうまみと出し汁がご飯にしみこみなかなかの物です。

又、釜の周りのおこげも香ばしく一見焼きおにぎりの感覚で食べれます。この中国風炊き込み御飯は何種類もあり一歩注文を間違うと予想を完全に裏切る結果となりますので、注意してください。



清溪の人(小姐編)



氏名: 周 齡(ジョウ リン)
生年月日: 12, OCT, 1980

趣味: デイスコ

連絡先: ?

勤務先: 清溪镇内某百貨店勤務